

Y08c 学生を対象とした公募型宇宙企画の試み 九州大学の事例紹介

藤原智子, 片山千春, 鈴木右文, 花田俊也, 山岡均 (九州大学)

平成 23 年度より、九州大学では学内研究者による分野横断型宇宙教育活動「ペガサスプロジェクト」を開始した。活動の一環であり、学生の科学コミュニケーションの実践の場として、平成 25 年度後期より主として星空案内人(準案内人)資格取得者を対象とし、宇宙に関するイベント企画(天体観望会や出前授業など)を公募する「ペルセウスチャレンジ」という制度を新設した。この取り組みは、イベントを機に参加者に宇宙への理解を深めてもらうだけでなく、実施する学生のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、企画力の向上も視野に入れている。

これまでのところ、ペルセウスチャレンジには 2 件の応募があり、いずれもペガサスプロジェクトの審査を経て採択された。企画の内容は 2 件とも、九州大学伊都キャンパスに設置されているペガサス天体望遠鏡(40cm カタディオプトリック式)を用いた一般向け観望会であった。スタッフは、九州大学の様々な学部・学科及び学年の学生が混合で構成され、ペガサスプロジェクトのメンバーがサポートを行う。最初に提案された 1 件は昨年 12 月に予定されていたが、雨天のため中止となった。次の 1 件は 7 月下旬に実施される予定である。

本講演では、ペルセウスチャレンジの紹介と実施報告及びその教育効果について発表する。